

事 調 第 8 2 7 号

令和2年(2020年)9月24日

各(総合)振興局産業振興部長 様

農政部農村振興局事業調整課長

工事における現場環境改善費の積算要領について (通知)

このことについて、別紙のとおり制定し、積算基準日が令和2年12月1日以降の工事から適用することとしたので通知します。

(設計積算係 内線 27-184)

工事における現場環境改善費の積算要領

1. 目的

本要領は、公共事業の円滑な執行を図るべく、地域との連携の下に行う工事の現場環境改善費の算定について、必要な事項を定めることにより、当該工事の適正な積算に資することを目的とする。

2. 対象となる現場環境改善の内容

工事に伴い実施する現場環境改善（仮設備関係、営繕施設、安全施設）及び地域連携に関するものを対象とする。

3. 適用の範囲

周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、農家等との調整、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、全ての屋外工事を対象とする。

ただし、次の工事は対象外とする。

現場環境改善を適用対象外とする工事

- (1) 施設機械工事
- (2) 建築工事
- (3) 実施が困難又は効果が期待できない工事
 - ・緊急を要する工事（災害復旧工事等）
 - ・工事規模が小さい工事（工事費 500 万未満）

4. 積算方法等

(1) 基本的な考え方

- ① 現場環境改善に要する費用は、原則として当初設計から計上するものとする。
- ② 費用が巨額となるため現場環境改善費率で計上することが適当でないと判断されるものは、実施内容を設計図書に明示するとともに、その費用について見積り等を参考に適切に計上するものとする。

(2) 積算方法

- ① 算出方法は以下のとおりとし、共通仮設費に積上げ計上する。

算出式

$$K = i \cdot P_i + \alpha$$

ただし、K：現場環境改善費（単位：円、1,000 円未満を切り捨て）

i：現場環境改善費率（単位：%、小数第3位を四捨五入して2位止め）

P_i：対象額（単位：円）（直接工事費（処分費等を除く）＋支給品費）

α：積上げ計上分の額（単位：円、1,000 円未満切り捨て）

対象額：P i		現場環境改善費率：i (%)
直接工事費 (処分費等を除く) + 支給品費	5億円以下の場合	$i = 85.6 \cdot P i^{-0.2987}$
	5億円を超える場合	0.22

② 率に計上されるものは別表の実施する内容のうち、原則として各計上項目（仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域連携）ごとに1内容ずつ（ただし、いずれか1項目のみ2内容）の合計5つの内容を基本とした費用である。

また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。

ただし、地域連携の「①農家等との調整」は必須内容とする

③ 積上げ計上分（ α ）に計上されるものは、現場環境改善費率で計上することが適用できないと判断されるものとし、必要性を十分検討すること。

(3) 設計変更

① 率で計上するもの

(ア) 現場環境改善の内容（受注者が選択した項目及び受注者が増やした項目数）に伴う設計変更は行わない。

(イ) 対象金額（P i）の変動に伴う現場環境改善費率（i）の変更は行う。

② 積上げ計上するもの

(ア) 条件明示（積上げ計上分 α ）がなされているもので、内容に変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。

5. 確認方法

受注者は別表により実施する内容（5項目を基本）を選択し、具体的な実施内容・実施時期について施工計画書に記載し工事監督員と協議するものとする。

また、工事完成時には、現場環境改善の実施状況が分かる写真等の資料を提出するものとする。

6. その他

各計上項目にて選択した内容については、工事成績表の創意工夫及び社会性等で評価しないこととする。

安全関係の③避暑（熱中症予防）については、共通仮設費に係る対策とする。

7. 適用年月日

積算基準日が令和2年12月1日以降の工事から適用する。

【別表】

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	<ul style="list-style-type: none"> ① 用水・電力等の供給設備の充実 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
営繕関係	<ul style="list-style-type: none"> ① 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ② 労働者宿舎の快適化 ③ デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	<ul style="list-style-type: none"> ① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ② 盗難防止対策（警報器等） ③ 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 農家等との調整 ② 完成予想図 ③ 工法説明図 ④ 工事工程表 ⑤ デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥ 見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦ 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧ パンフレット・工法説明ビデオ ⑨ 社会貢献

【参考】

現場環境改善費の事例

取り組み内容の選定にあたっては、本事例にとらわれることなく、現場・地域に応じた内容を考慮し選定すること。

計上項目	実施する内容の事例
仮設備関係	<ul style="list-style-type: none">・ 発電機を常備し緊急事態の電力供給に備えた。・ 現場事務所の付近に壁掛け用の鉢等を設け、住民・作業員が親しみやすいようにした。・ 夜間の転倒防止のため現場事務所の付近にセンサーライトを設置した。・ 段差のある通路に勾配を自由に調整できる昇降階段を設置した。・ 近隣住民への騒音対策のため防音パネルを設置し作業を行った。
営繕関係	<ul style="list-style-type: none">・ 現場事務所にウォーターサーバー・冷蔵庫を設置した。・ 作業員のために屋外休息場所を設置した。(木製テーブル、椅子)・ 現場事務所に血圧計を置き作業員の血圧を毎日計測して健康管理を行った。
安全関係	<ul style="list-style-type: none">・ 道路工事で写真やキャラクターのデザインを入れた工事看板を設置した。・ 現場事務所に対人センサーを設置し盗難防止対策を図った。・ 現場事務所等に冷房施設(エアコン等)を設置した(熱中症予防として)。
地域連携	<ul style="list-style-type: none">・ 関係農家に営農時期の聞き取りを行い工事工程の調整を図った。・ 何のための工事なのか、完成予想図やイメージパスを現地に掲示した。・ 事業計画概要や計画図を周辺住民に配布し工事内容の理解度を高めた。・ 地域住民に農業農村整備事業を知ってもらうためPR看板を設置した。・ 担い手の確保を目的として、地元高校生を対象に職場体験を実施した。・ 地元小学生の写生会の協力を行った。(建設機械等の写生会)・ ICT関連などの最先端技術を紹介するため見学所を設置した。・ パンフレット及び現場施工ビデオ等を作成し工事説明会に活用した。・ 施工現場や現場事務所付近の草刈りやゴミ拾いを定期的に行った。・ 排水路工事で工事着手前に地元住民と工事区間の魚類等を捕獲して避難させた。

原則として計上項目のそれぞれ1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。